

日本画像学会
2026度 第69回定時総会

2026年6月10日(水)
11:10~12:00
東京科学大学 すずかけホール

2026年度 定時総会 進行次第

(2026年6月10日(水) 11:10～12:00)

1. 開会の辞
2. 会長挨拶
3. 定足数の確認・報告、議長選出
4. 第1号議案:2026年度役員案(審議・承認) 矢口
5. 第2号議案:2025年度事業報告(審議・承認) 矢口
6. 第3号議案:2025年度決算案・監査結果(審議・承認) 加川・中居
7. 第4号議案:2026年度事業計画/財務計画/年間予定(報告) 矢口・加川
8. 質疑応答
9. 閉会の辞

日本画像学会 第68回定時総会

2026年6月10日(水) 11:10-12:00

- Zoomオンライン参加の方へのお願い
 - ✓ Zoomでの表示名を、「矢口博之」、のように「姓名」に設定していただくようお願いいたします。
 - ✓ 参加記録のため、チャットに、ホスト宛てで、お名前の記載をお願いいたします。
 - ✓ 発言の際や議決の際は、Zoomの挙手ボタンを使用します。

2026年度 定時総会 進行次第

(2026年6月10日(水) 11:10～12:00)

1. 開会の辞
2. 会長挨拶
3. 定足数の確認・報告、議長選出
4. 第1号議案:2026年度役員案(審議・承認) 矢口
5. 第2号議案:2025年度事業報告(審議・承認) 矢口
6. 第3号議案:2025年度決算案・監査結果(審議・承認) 加川・中居
7. 第4号議案:2026年度事業計画/財務計画/年間予定(報告) 矢口・加川
8. 質疑応答
9. 閉会の辞

- 2026年度日本画像学会活動方針 -

1. 日本画像学会のスコープ技術を活かす場所を拡げる
2. 学会の役割を拡げる：これまで以上に技術者・研究者の成長の場としての学会の役割を果たす
3. 学会の組織，活動に若手，女性技術者・研究者の参画を増やす
4. 学会の存在価値・認知度向上
5. 理事会・委員会組織の活性化

2024年度からの活動方針は，現在の本学会にとっての最重要課題に対応するものであり，2026年度以降も継続して方針として掲げ，今後2年間でさらに達成度を高めていく。

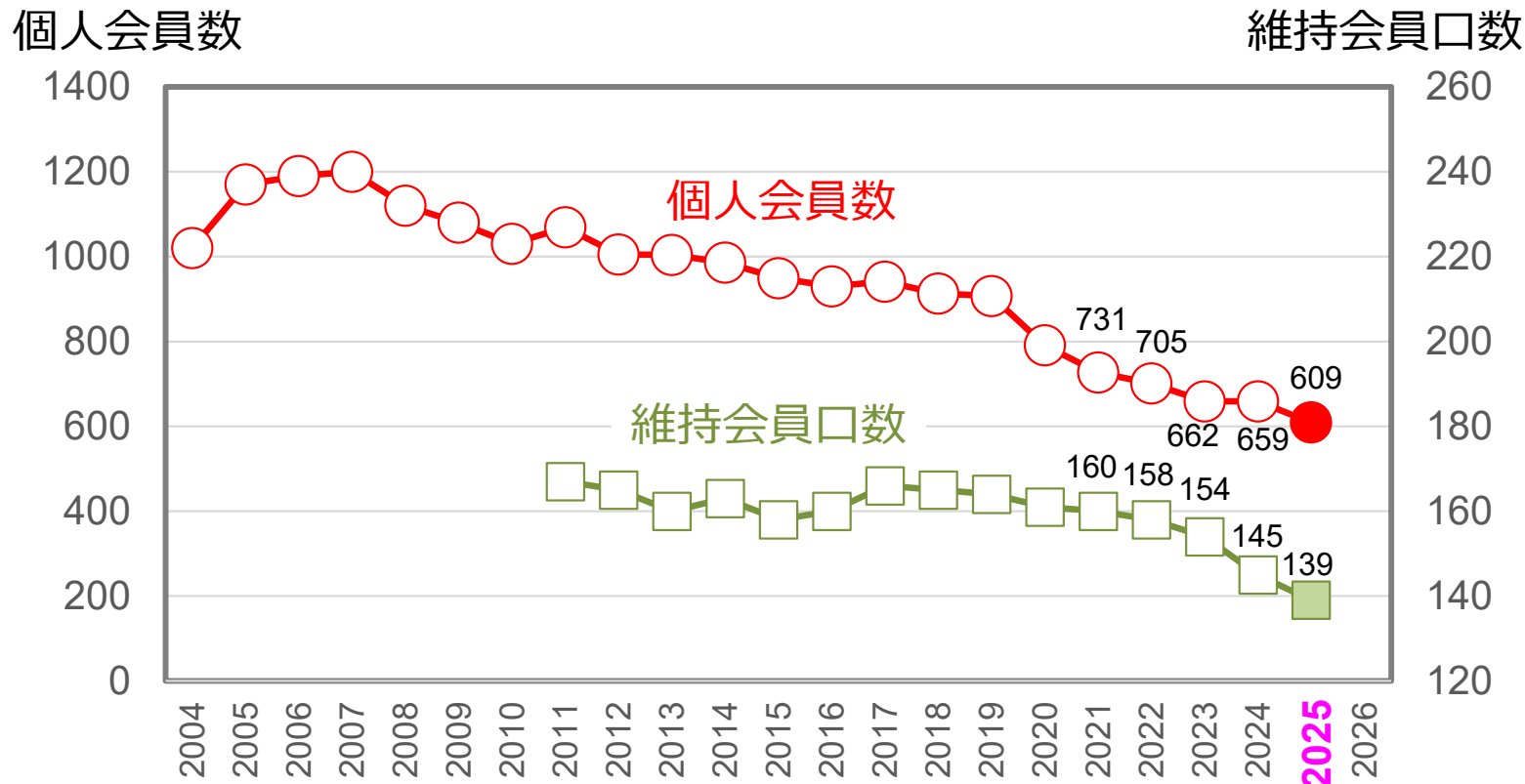
2025年度に追加した重点項目『3つの視点からのAIとの関わり検討』は，昨年の役員研修会で決めたACものも含め，各委員会やイベントで継続して検討，活用を進める。（いくつかの施策については，試行が始まっている）

- 境界保全型共創の場としての学会 -

目指す学会の在り方を象徴する言葉として「**境界保全型共創**」を新たに提示し、会員、会員外にまずは浸透させたい。既存の活動もこのプロセスに基づいているものもあるが、新たな取り組みも具現化したい。

境界保全型共創：組織間の競争関係および機密保持の境界を維持したまま、技術に関する抽象化された知識や問題設定を媒介とし、共通の価値軸および新たな技術的方向性(ロードマップや技術が適用できる応用)を共同で探索・創出する知識相互作用のプロセス。

- 学会状況 -



- 個人会員の減少傾向は続いている。活動方針の実現策を確実に実行する。
- 維持会員数の減少が顕著。退会理由は業界再編、画像関連事業からの撤退や事業内容の変換によるものである。
- プロダクションプリンティング、材料メーカーへのコンタクトを継続中。結果、3社の新規加入もあったが、退会の方が多い。今後も新規会社へアプローチを行って行く。

2026年度 定時総会 進行次第

(2026年6月10日(水) 11:10～12:00)

1. 開会の辞
2. 会長挨拶
3. 定足数の確認・報告、議長選出
4. 第1号議案:2026年度役員案(審議・承認) 矢口
5. 第2号議案:2025年度事業報告(審議・承認) 矢口
6. 第3号議案:2025年度決算案・監査結果(審議・承認) 加川・中居
7. 第4号議案:2026年度事業計画/財務計画/年間予定(報告) 矢口・加川
8. 質疑応答
9. 閉会の辞

定足数と事前投票・本日出席者数の報告

| | |
|-----------|-----|
| ①社員総会の会員数 | 566 |
| 定足数(①÷2) | 284 |

回答結果

| | |
|------------|-------|
| ②回答者数(③+④) | 313 |
| ③メール回答数 | 313 |
| ④ハガキ回答数 | 0 |
| 回答内容 | |
| ⑤総会出席者数 | 45 |
| ⑥欠席者数(⑦+⑧) | 268 |
| ⑦議決者数 | 23 |
| ⑧委任者数 | 245 |
| 回答率(②÷①) | 55.3% |

- ・既議決者数23＋委任者数245＋本日の出席者数45＝合計313名。
- ・本総会の出席者数は定足数を十分に満たしていることをご報告します。

2026年度 定時総会 進行次第

(2026年6月10日(水) 11:10~12:00)

1. 開会の辞
2. 会長挨拶
3. 定足数の確認・報告、議長選出
4. **第1号議案:2026年度役員案(審議・承認)** 矢口
5. 第2号議案:2025年度事業報告(審議・承認) 矢口
6. 第3号議案:2025年度決算案・監査結果(審議・承認) 加川・中居
7. 第4号議案:2026年度事業計画/財務計画/年間予定(報告) 矢口・加川
8. 質疑応答
9. 閉会の辞

第1号議案 : 役員承認 (1/3)

(1)2026年度の改選候補 (任期:2026年6月—2028年6月まで)

- *: 前任者任期が2026年度定時総会までのところ任期満了前に退任したため、2025年度から役員代理に就任中の新任候補、もしくは前任者が2026年度定時総会で任期を満了し退任するため新たに推薦された新任候補
- ** : 前任者任期が2026年度の定時総会までのところ、2025年度末までに退任したため、その任期を引き継ぐ新任候補
- 無印: 任期が2027年度定時総会までの役員候補(留任希望)

| 区分 | | 氏名 | | 所属 |
|----|----|--------|----|----------------|
| 理事 | 1 | 藤井 雅彦 | | 慶應義塾大学SFC研究所 |
| | 2 | 前田 秀一 | | 東海大学 |
| | 3 | 木崎 宏恵 | | 三菱ケミカル(株) |
| | 4 | 梅津 信二郎 | | 早稲田大学 |
| | 5 | 加川 哲哉 | | コニカミノルタ(株) |
| | 6 | 垣内 徹 | | ブラザー工業(株) |
| | 7 | 中村 一希 | ** | 千葉大学 |
| | 8 | 鈴木 健彦 | | キヤノン(株) |
| | 9 | 高村 真澄 | * | 山形大学 |
| | 10 | 田川 義之 | | 東京農工大学 |
| | 11 | 田之上 剛 | | セイコーエプソン(株) |
| | 12 | 寺尾 博年 | | アルプスアルパイン |
| | 13 | 橋詰 博徳 | | (株)ミマキエンジニアリング |
| | 14 | 福江 高志 | | 金沢工業大学 |
| | 15 | 宮戸 健志 | | 富士フイルム(株) |
| 監事 | 1 | 東嶋 健太 | * | 王子製紙(株) |

第1号議案関連：役員紹介 (2/3)

(2)2026年度 非改選の役員 (任期:2025年6月-2027年6月まで)

| 区分 | | 氏名 | 所属 |
|----|----|-------|-----------------------|
| 理事 | 16 | 飯野 裕明 | 東京科学大学 |
| | 17 | 岩田 基 | 大阪公立大学 |
| | 18 | 矢口 博之 | 東京電機大学 |
| | 19 | 木内 豊 | 富士フイルム ビジネスイノベーション(株) |
| | 20 | 木下 周三 | 三菱製紙(株) |
| | 21 | 小山 明紀 | 京セラドキュメントソリューションズ(株) |
| | 22 | 常安 翔太 | 東京工芸大学 |
| | 23 | 澤井 正幸 | シャープ(株) |
| | 24 | 中井 洋志 | エトリア(株) |
| | 25 | 宮本 篤生 | (株)巴川コーポレーション |
| | 26 | 吉田 崇裕 | (株)リコー |
| 監事 | 2 | 服部 好弘 | コニカミノルタ(株) |

第1号議案関連 : その他の役員の紹介(3/3)

＜2025年度で退任された、あるいは2026年度総会をもって退任される理事・監事＞

| 区分 | | 氏名 | 所属 |
|------------|----|-------|---------------|
| 退任予定 役員 | 理事 | 小林 範久 | 千葉大学 |
| | 理事 | 高橋 茂樹 | 山形大学 |
| | 幹事 | 河野 信明 | 元キャノン(株) |
| | 幹事 | 朝武 敦 | ATI-Cコンサルティング |
| | 幹事 | 深谷 知己 | 京セラ(株) |
| | 監事 | 中居 達 | 王子製紙(株) |

=====
＜2026年度 幹事・監事＞

足立 克己 シャープ(株) 東嶋 健太 王子製紙(株)
峯岸 なつ子 コニカミノルタ(株) 宮本 栄一 京セラドキュメントソリューションズ(株)

=====
＜2026年度 顧問＞

面谷 信 (東京電機大学) 北村 孝司 (千葉大学) 小門 宏 (東京科学大学)
佐藤 利文 (東京工芸大学) 高橋 恭介 (東海大学) 高橋 通 (元キャノン(株))
田嶋 紀雄 (元コニカミノルタ(株)) 中山 善萬 (大阪大学)
半那 純一 (東京科学大学) 平倉 浩治 (HiRAK、元(株)リコー)
横山 正明 (大阪大学)

第1号議案 事前投票結果

第1号議案
2026年度役員候補

| 事前投票結果 | | | |
|--------|-------|-------|-------|
| | 第1号議案 | 第2号議案 | 第3号議案 |
| 賛成 | 22 | | |
| 反対 | 1 | | |

| 委任先 | 議長・会長 | 244 |
|-----|-------|-----|
| | その他会員 | 1 |
| | 合計 | 245 |

2026年度 定時総会 進行次第

(2026年6月10日(水) 11:10～12:00)

1. 開会の辞
2. 会長挨拶
3. 定足数の確認・報告、議長選出
4. 第1号議案:2026年度役員案(審議・承認) 矢口
5. **第2号議案:2025年度事業報告(審議・承認) 矢口**
6. 第3号議案:2025年度決算案・監査結果(審議・承認) 加川・中居
7. 第4号議案:2026年度事業計画/財務計画/年間予定(報告) 矢口・加川
8. 質疑応答
9. 閉会の辞

第2号議案 2025年度事業報告

第69回定時総会議案
2025年度事業報告をご参照ください

下記 5委員会はスライドにて活動報告をします。

1. 編集委員会 (宮本幹事)

2. 技術委員会 (前田理事)

3. 企画委員会 (中井理事)

4. コンファレンス委員会 (吉田理事)

5. 事業委員会 (田之上理事)

3-1 編集委員会

2025年度活動実績

■委員会組織・活動

- ✓ 編集委員会6回開催，特集企画会議開催
- ✓ 学会誌企画・編集，校正，各種WG

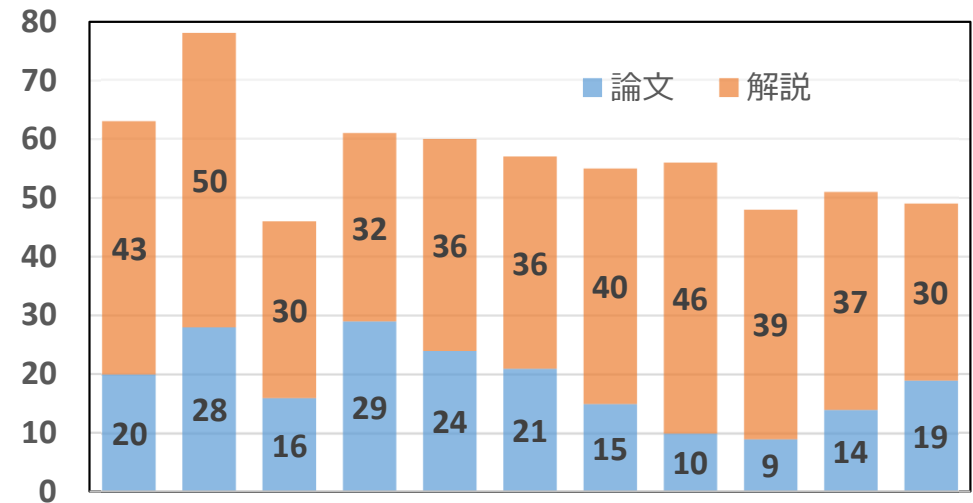
■学会誌

- ✓ 年6冊定時発行
- ✓ Special Topics (12月号) として「Printed Flexible Electronics and Devices」英文解説3報，論文3報を掲載

■その他の活動

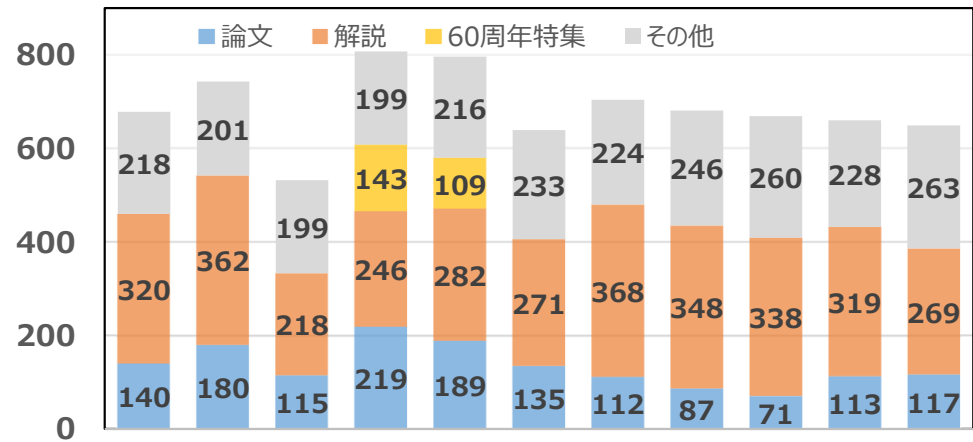
- ✓ 第45回フリートーク開催('25/1/20)「デジタルテキスタイルとインクジェットの最新動向と今後の展望」
- ✓ ICJ2025 Imaging Today特別セッション テーマ「最新のエナジーハーベストティング技術・材料」3講演
- ✓ 編集委員長賞選考・表彰
 - ・ICJ2025, ICJ2025 Fall
- ✓ IF (impact factor) 取得申請・審査中

掲載論文数と特集解説数の年度推移



2015 2016 2017 2018 2019 2020 2021 2022 2023 2024 2025

年度ごとのページ数内訳



2015 2016 2017 2018 2019 2020 2021 2022 2023 2024 2025

3-2 技術委員会

2025年度活動実績

各部会企画の研究会等 実績(2025年4月～2026年3月)

■体制

委員長:前田秀一

副委員長:飯野裕明・宮戸健志

■部会

リアル開催を意識したハイブリッド研究会の開催。他学協会との共同開催(機械学会IIP等)

■討議・交流

主査会議、総会(206/1/23)開催

■複写機遺産

第5回複写機遺産認定活動

■技術研究会

トナー技術研究会(5/16)、電子ペーパー/フレキシブル部会(11/13)、電子写真技術部会(2/6)、MBD部会(3/2)、インクジェット部会(3/6)等5回開催、(一昨年度は2回、昨年度は4回の開催)

■技術講習会・シンポジウムへの協力

ICJ2025(東京科学大)(オーガナイズドセッション企画)、第89回技術講習会(ハイブリッド6/30-7/4)、関東シンポジウム(ハイブリッド12/11)、感性部会-視覚学会コラボ(オンライン全4回)、インクジェット技術交流会等

3-3. 企画委員会

2025年度活動実績

◆イメージングNEXT

- 前企画であるイメージングカフェの「技術者が気軽に交流できる場を提供する」コンセプトは生かしつつ、時代に即した内容にブラッシュアップした新企画として昨年度スタート
- 2025/4～2026/3の期間で計3回(累計4回)開催。インタビュー形式の講演/新価値創出ワークショップ/研究室訪問など多様な形式にて実施
- 延べ参加者47名(会員41名/非会員6名) ※講師・委員含む

Imaging
NEXT



◆2025年度関東シンポジウム

- 『Imaging Next Generation: 技術の蓄積とAI共創の未来』～「歩み」を知り、「価値」の加速へ～ と題し、12/11に開催
- 各技術部会によるこの一年の振り返りに加え、生成AIを実践的に使いこなし、画像技術の将来につなげるためのワークショップを実施
- 参加者38名(会員35名/非会員3名)、うち現地22名 ※講師・委員含む



3-4. コンファレンス委員会

2025年度活動実績

■ 2025年 年次大会 (Imaging Conference JAPAN 2025 : ICJ2025)

[日本画像学会研究討論会 (第135回) : 日本画像学会年次大会]

- ・開催日：2025年6月11日(水)～13日(金)
- ・会場：東京科学大学 横浜キャンパス & Zoomハイブリッド
- ・スローガン：画像価値多様化への挑戦 -来て・見て・語れ, つながりが拓く画像技術の未来-
『The Challenge of Diversifying Image Value
- Come, Watch, and Discuss, Nexus Pioneers the Future of Imaging Technology -』
- ・講演数70件：目標の70件を達成。(ICJ2024は62件)
- ・参加者255名：目標の300名を大きく下回る。ICJ2024の293名から13%減。
⇒特に若手(25～35歳)の対面参加が減少。
参加者/講演数比は3.6で、過去トレンドから大きく下回った。
講演者数を増やすことが必ずしも参加者数増につながらない事例となった。
- ・展示会9社：昨年に引き続きの施策*1)に加え、スタンプラリーを初実施。
完走者は32名で想定よりも多かったが、「一日では回り切れない」
「全ブース制覇は大変」という声もあった。

*1)展示会場への動線の工夫、

展示会場でのカフェスペースの設置等

3-5. 事業委員会

2025年度活動実績

第89回技術講習会

【開催概要】

サブタイトル：「画像技術の基礎と将来」

日時：2025年6月30日～7月4日（5日間・21講座）

ハイブリッド開催：ユニコムプラザさがみはら + Zoom配信

参加者：96名（昨年実績71名から大幅増）

【トピックス】

新人教育としての活用が定着

活用企業が増加し、受講者数はコロナ前水準へ回復

満足度90%超を維持

ハイレベルな講義を通じ、実務の土台となる基礎技術を網羅的に学ぶことで高い支持を獲得

会場参加への回帰

講師によるサンプル展示や情報交換会を開催することで、「つながり」を求める若手層の対面参加を促進

若手向け



秋・技術講習会「チュートリアル2025」

テーマ：「良い商品・サービスとは何か？ その価値を生み出す・届ける・活かす」

日時：2025年12月3日

形式：会場参加のみ

プログラム：「価値を生み出す・届ける・活かす」を総合的に学び、考え、ディスカッションする構成

受講者の声：単なるスキルの習得に留まらず、新規事業や未踏分野へ挑戦するための「思考の軸」が得られたと高評価

中堅向け

第2号議案 事前投票結果

第2号議案
2025年度事業報告

| 事前投票結果 | | | |
|--------|-------|-------|-------|
| | 第1号議案 | 第2号議案 | 第3号議案 |
| 賛成 | 22 | 23 | |
| 反対 | 1 | 0 | |

| 委任先 | 議長・会長 | 244 |
|-----|-------|-----|
| | その他会員 | 1 |
| | 合計 | 245 |

2026年度 定時総会 進行次第

(2026年6月10日(水) 11:10～12:00)

1. 開会の辞
2. 会長挨拶
3. 定足数の確認・報告、議長選出
4. 第1号議案:2026年度役員案(審議・承認) 矢口
5. 第2号議案:2025年度事業報告(審議・承認) 矢口
6. 第3号議案:2025年度決算案・監査結果(審議・承認) 加川・中居
7. 第4号議案:2026年度事業計画/財務計画/年間予定(報告) 矢口・加川
8. 質疑応答
9. 閉会の辞

2025年度 財務報告 (2025年度決算案)

財務委員会

収支概要

| 科目 | 予算額 | 年度末決算額 | 差異(対予算) | 増減 |
|---------------------|-------------------|-------------------|------------------|--------------------|
| I 事業活動収支の部 | | | | |
| 1. 事業活動収入 | | | | |
| 特定資産運用収入 | 0 | 5,674 | 5,674 | (-_-) |
| 会費収入 | 16,410,000 | 16,645,860 | 235,860 | (^o^) |
| 事業収入 | 10,770,000 | 17,053,332 | 6,283,332 | (^o^) |
| 受取利息収入 | 0 | 44,697 | 44,697 | (^o^) |
| その他の事業活動収入 | 0 | 52,921 | 52,921 | (^o^) |
| 事業活動収入計 | 27,180,000 | 33,802,484 | 6,622,484 | (^o^) |
| 2. 事業活動支出 | | | | |
| 事業費支出 | 15,530,000 | 21,460,109 | 5,930,109 | (>_<) |
| 管理費支出 | 11,580,000 | 13,118,921 | 1,538,921 | (>_<) |
| 法人税等 | 70,000 | 70,000 | 0 | (-_-) |
| その他の事業活動支出 | 0 | 5,777 | 5,777 | (-_-) |
| 事業活動支出計 | 27,180,000 | 34,654,807 | 7,474,807 | (>_<) |
| 事業活動収支差額 | 0 | -852,323 | -852,323 | (>_<) |
| II 投資活動収支の部 | | | | |
| 1. 投資活動収入 | 0 | 0 | 0 | (-_-) |
| 2. 投資活動支出 | 0 | 0 | 0 | (-_-) |
| III 財務活動収支の部 | | | | |
| 1. 財務活動収入 | 0 | 0 | 0 | (-_-) |
| 2. 財務活動支出 | 0 | 0 | 0 | (-_-) |
| IV 予備費支出 | 0 | 0 | 0 | (-_-) |
| 当期収支差額 | 0 | -852,323 | -852,323 | (>_<) |

事業活動収入詳細

| 科目 | 予算額 | 年度末決算額 | 差異(対予算) | 増減 | 備考 |
|---------------|------------|------------|-----------|-------|----------|
| 1. 事業活動収入 | | | | | |
| 特定資産運用収入 | 0 | 5,674 | 5,674 | (-_-) | |
| 会費収入 | 16,410,000 | 16,645,860 | 235,860 | (^0^) | |
| 正会員会費収入 (A) | 4,480,000 | 4,285,668 | -194,332 | (>_<) | 会員数減 |
| 維持会員会費収入 | 11,300,000 | 11,911,840 | 611,840 | (^0^) | 活動により収入増 |
| 4 D F F 会費収入 | 630,000 | 448,352 | -181,648 | (>_<) | 会員数減 |
| 事業収入 | 10,770,000 | 17,053,332 | 6,283,332 | (^0^) | |
| 研討・研究会参加費 | 6,200,000 | 5,912,500 | -287,500 | (>_<) | |
| 講習会参加費 (B) | 1,820,000 | 3,069,500 | 1,249,500 | (^0^) | 参加者増 |
| 試験標準品頒布収入 (C) | 600,000 | 5,561,200 | 4,961,200 | (^0^) | チャート販売増 |
| 予稿集・技術資料頒布収入 | 30,000 | 99,515 | 69,515 | (^0^) | |
| 出版物頒布収入 | 20,000 | 219,851 | 199,851 | (^0^) | |
| 会誌購読・BN頒布収入 | 700,000 | 671,516 | -28,484 | (>_<) | |
| 広告収入 | 700,000 | 810,000 | 110,000 | (^0^) | |
| 雑収入 | 100,000 | 0 | -100,000 | (>_<) | |
| 4 D F F 研究会収入 | 600,000 | 709,250 | 109,250 | (^0^) | |
| 受取利息収入 | 0 | 44,697 | 44,697 | (^0^) | |
| その他の事業活動収入 | 0 | 52,921 | 52,921 | (^0^) | |
| 事業活動収入計 | 27,180,000 | 33,802,484 | 6,622,484 | (^0^) | |

事業活動支出詳細

| 科目 | 予算額 | 年度末決算額 | 差異(対予算) | 増減 | 備考 |
|------------------|-------------------|-------------------|------------------|-------|-----------------|
| 2. 事業活動支出 | | | | | |
| 事業費支出 | 15,530,000 | 21,460,109 | 5,930,109 | (>_<) | |
| 会誌発行費 (A) | 7,000,000 | 7,820,181 | 820,181 | (>_<) | 会誌の紙種を変更 |
| 4DFFジャーナル発行費 | 0 | 0 | 0 | (-_-) | |
| 研討・研究会開催費 | 2,980,000 | 3,639,301 | 659,301 | (>_<) | 物価高によるコスト増 |
| 講習会開催費 | 1,200,000 | 1,062,195 | -137,805 | (^0^) | |
| 試験標準品作製費 | 320,000 | 3,951,200 | 3,631,200 | (>_<) | チャート販売増 |
| 出版物作製費 | 0 | 0 | 0 | (-_-) | |
| デジタル化費 | 600,000 | 526,514 | -73,486 | (^0^) | |
| 学会賞費 (B) | 400,000 | 707,487 | 307,487 | (>_<) | 論文賞2件など受賞が多くなった |
| 諸委員会費 | 800,000 | 827,772 | 27,772 | (>_<) | |
| 理事会・評議員会・総会費 | 950,000 | 1,541,313 | 591,313 | (>_<) | |
| 4 D F F 研究会支出 | 950,000 | 974,139 | 24,139 | (>_<) | |
| 公告宣伝費 | 0 | 310,007 | 310,007 | (>_<) | |
| 国際交流支出 | 330,000 | 0 | -330,000 | (^0^) | |
| 管理費支出 | 11,580,000 | 13,118,921 | 1,538,921 | (>_<) | |
| 通信・運搬費 | 400,000 | 436,941 | 36,941 | (>_<) | |
| 事務費 (C) | 1,600,000 | 1,870,498 | 270,498 | (>_<) | プリンター使用料増 |
| 事務員費 | 9,300,000 | 10,466,832 | 1,166,832 | (>_<) | |
| 事務機械化費 (D) | 100,000 | 145,040 | 45,040 | (>_<) | zoomで動画を流す機材の購入 |
| 雑費 | 100,000 | 66,710 | -33,290 | (^0^) | |
| 租税公課 | 20,000 | 73,400 | 53,400 | (>_<) | |
| 管理諸費 | 60,000 | 59,500 | -500 | (-_-) | |
| 退職給付費用 | 0 | 0 | 0 | (-_-) | |
| 法人税等 | 70,000 | 70,000 | 0 | (-_-) | |
| その他の事業活動支出 | 0 | 5,777 | 5,777 | (-_-) | |
| 事業活動支出計 | 27,180,000 | 34,654,807 | 7,474,807 | (>_<) | |

2025年度監事監査報告

監事は、2025年4月1日から2026年3月31日までの2025年度の業務及び会計について監査を実施致しました。その結果について次のとおり報告致します。

1. 監査方法の概要

- ・ 監事は、理事会や重要な会議に出席するほか、日本画像学会の関係者から事業の報告を聴取し、重要な書類の回付を受け学会における業務及び財産の状況を調査致しました。
- ・ 日本画像学会の関係者および財務委員会から報告および説明を受け、監査委員会を実施し、決算報告書について監査を実施致しました。

2. 監査結果

2. 1 業務監査の結果

日本画像学会の業務については、藤井会長の提示された方針および施策に基づき、イベントの開催方法や企画・運営の工夫、委員会メンバーの若返り等が進められており、年度計画および事業計画は、それらを反映して適正に運営、施行されていると認めます。

2. 2 会計監査の結果

2026年4月27日、Web会議にて監査委員会を実施した結果、加川財務委員長より説明があった、2025年度日本画像学会決算報告書（貸借対照表、正味財産増減計算書、収支決算書、財産目録他）は、当日指摘された記載不備が適切に修正された結果、必要な事項を正しく示していると認めます。

2026年6月10日

一般社団法人 日本画像学会監事

東嶋 健太

服部 好弘

第3号議案 事前投票結果

第3号議案
2025年度決算案・監査結果

| 事前投票結果 | | | |
|--------|-------|-------|-------|
| | 第1号議案 | 第2号議案 | 第3号議案 |
| 賛成 | 22 | 23 | 23 |
| 反対 | 1 | 0 | 0 |

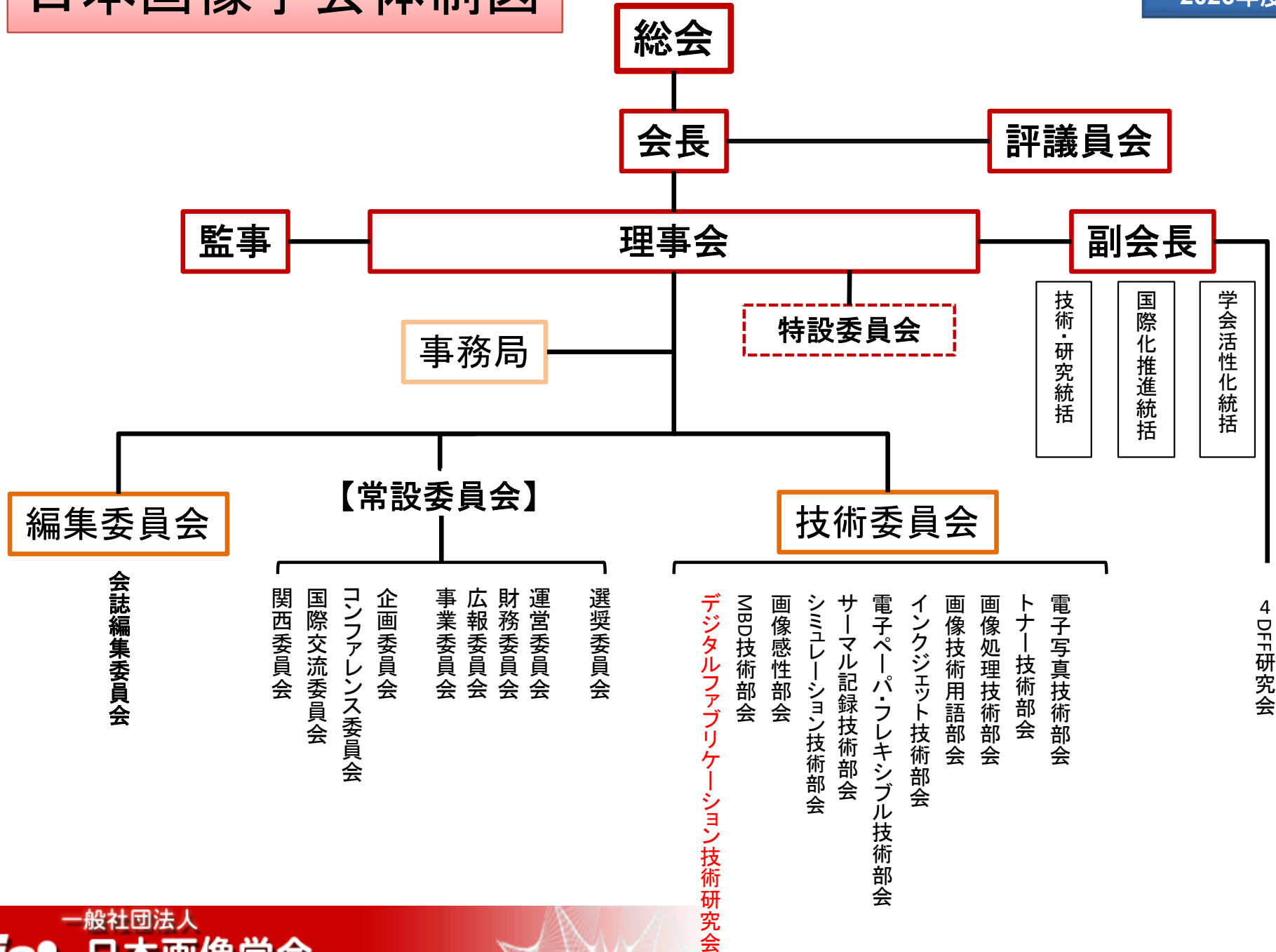
| 委任先 | 議長・会長 | 244 |
|-----|-------|-----|
| | その他会員 | 1 |
| | 合計 | 245 |

2026年度 定時総会 進行次第

(2026年6月10日(水) 11:10～12:00)

1. 開会の辞
2. 会長挨拶
3. 定足数の確認・報告、議長選出
4. 第1号議案:2026年度役員案(審議・承認) 矢口
5. 第2号議案:2025年度事業報告(審議・承認) 矢口
6. 第3号議案:2025年度決算案・監査結果(審議・承認) 加川・中居
7. 第4号議案:2026年度事業計画/財務計画/年間予定(報告) 矢口・加川
8. 質疑応答
9. 閉会の辞

日本画像学会体制図



会長 藤井雅彦

執行部会

副会長 前田秀一
木崎宏恵

事務局長: 中山信行
運営委員長: 矢口博之

赤字: 新任役員

【理事会】

理事(23名, 会長副会長3名)

飯野 裕明(東京科学大学)

梅津 信二郎(早稲田大)

垣内 徹(ブラザー工業)

木下 周三(三菱製紙)

澤井 正幸(シャープ)

高村 真澄(山形大学)

田之上 剛(セイコーエプソン) 常安 翔太(東京工芸大学)

寺尾 博年(アルプスアルパイン)

中村 一希(千葉大学)

福江 高志(金沢工業大学)

宮本 篤生(巴川製紙所)

吉田 崇裕(リコー)

岩田 基(大阪公立大学)

加川 哲哉(コニカミノルタ)

木内 豊(富士フイルムビジネスイノベーション)

小山 明紀(京セラドキュメントソリューションズ)

鈴木 健彦(キヤノン)

田川 義之(東京農工大学)

中井 洋志(エトリア)

橋詰 博徳(ミマキエンジニアリング)

宮戸 健志(富士フイルム)

矢口 博之(東京電機大)

監事

東嶋 健太(王子製紙)

服部 好弘(コニカミノルタ)

幹事

足立 克己(シャープ)

峯岸 なつ子(コニカミノルタ)

宮本 栄一(京セラドキュメントソリューションズ)

編集委員会

総数21名

委員長： 宮本栄一
副委員長： 名越応昇, 山口大地
編集幹事： 石塚一輝, 中村一希

赤字: 新任委員長

【常設委員会】

| | | |
|-------|-----------|-----|
| 選奨委員会 | 委員長: 飯野裕明 | 全4名 |
|-------|-----------|-----|

| | | |
|-------|-----------|------|
| 運営委員会 | 委員長: 矢口博之 | 全10名 |
|-------|-----------|------|

| | | |
|-------|-----------|-----|
| 広報委員会 | 委員長: 橋詰博徳 | 全8名 |
|-------|-----------|-----|

| | | |
|-------|-----------|------|
| 事業委員会 | 委員長: 田之上剛 | 全15名 |
|-------|-----------|------|

| | | |
|-------|-----------|-----|
| 財務委員会 | 委員長: 加川哲哉 | 全3名 |
|-------|-----------|-----|

| | | |
|------------|-----------|-----|
| コンファレンス委員会 | 委員長: 吉田崇裕 | 全6名 |
|------------|-----------|-----|

| | | |
|-------|-----------|------|
| 企画委員会 | 委員長: 中井洋志 | 全11名 |
|-------|-----------|------|

| | | |
|---------|------------|-----|
| 国際交流委員会 | 委員長: 峯岸なつ子 | 全3名 |
|---------|------------|-----|

| | | |
|-------|-----------|------|
| 関西委員会 | 委員長: 足立克己 | 全12名 |
|-------|-----------|------|

第4号議案
2026年度事業計画

技術委員会

委員長: 宮戸健志
副委員長: 飯野 裕明
副委員長: 中村一希

総数119名

赤字: 新任主査

| | | |
|-------------------|-----------|------|
| 電子写真技術部会 | 主査: 廣瀬光章 | 全12名 |
| トナー技術部会 | 主査: 大喜多正希 | 全9名 |
| 画像処理技術部会 | 主査: 松木 真 | 全15名 |
| 画像技術用語部 | 主査: 坂谷一巨 | 全14名 |
| インクジェット技術部会 | 主査: 名越応昇 | 全18名 |
| 電子ペーパー・フレキシブル技術部会 | 主査: 吉田 学 | 全15名 |
| サーマル記録技術部会 | 主査: 寺尾博年 | 全9名 |
| シミュレーション技術部会 | 主査: 加川哲也 | 全17名 |
| デジタルファブ리케이션部会 | 主査: 山崎智博 | 全9名 |
| 画像感性部会 | 主査: 鎰谷賢治 | 全10名 |
| MBD技術部会 | 主査: 松田裕道 | 全11名 |

3-1 編集委員会

2026年度活動計画

■委員会組織・活動

- ✓ 編集委員会
 - 定期委員会開催（年6回）
 - 学会誌編集，校正
 - 特集企画会議開催（合宿）
- ✓ 査読体制の強化の継続
 - 「内容査読」（技術・学術面）と「体裁査読」（体裁・要件面）を審査する2名査読者体制継続
- ✓ 研修会課題 AIと学会・画像技術の取組
 - AI関連テーマでのIT特集の企画
 - 体裁査読効率化の検討
- ✓ 学会内他組織との連携
 - ICJ実行委員会との連携継続

■学会誌

- ✓ 年6冊の定時発行
 - ICJ発表からの論文勧誘の促進継続
 - 商品解説記事の取り込み
 - 年1回の英文クラスタ論文特集号
 - 特集記事（IT/AT）の充実
 - Imaging Highlight，教育講座，研究室訪問の掲載を継続

■IF (impact factor) 取得

- ✓ ESCI (Emerging Sources Citation Index) へ収載
 - Clarivate社への初回トリアージ完了

■その他の活動

- ✓ フリートーキング開催
 - 第46回及びIT特別Sを企画，開催予定
- ✓ ICJ編集委員長賞，学会誌論文賞

3-2 技術委員会

2026年度活動計画

部会の開催(特に対面開催)を増やす取り組み(合宿の開催等も検討)

技術交流会の推進

他学会/組織とのコラボ企画継続(日本機械学会IP、日本視覚学会等)

ICJ2026(東京科学大横浜キャンパス)オーガナイズドセッション(部会企画)開催

活動予定

- ・主査会議、技術委員会総会の開催
- ・他学会/組織とのコラボ企画
- ・技術講習会(春・秋)、関東・関西シンポジウムへの協力
- ・第6回複写機遺産認定事業
- ・デジタルファブリケーション部会の再始動

4-4 コンファレンス委員会

2026年度活動計画



日本画像学会年次大会(第137回)

Imaging Conference JAPAN 2026

2026年6月10日(水)~12日(金) : 東京科学大学 横浜 キャンパス&Zoomハイブリッド

画像価値多様化への挑戦

— 来て・見て・語れ 若い力とつながりが拓く画像技術の未来 —

The Challenge of Diversifying Image Value

— Come, Watch, and Discuss,

Young Talent and the Nexus Pioneer the Future of Imaging Technology —

2025/10/06 第1回 実行委員会

2025/12/05 第2回 実行委員会

2026/01/20 第3回 実行委員会

2026/03/11 第4回 実行委員会

2026/05/中旬 第5回 実行委員会

2026/07/上旬 第6回 実行委員会

2025/12/10 1st Call For Paper

2026/01/30 2nd Call For Paper

2026/03/13 講演募集締切

2026/04/06 参加申込受付開始

2026/05/29 参加申込締切

2026/06/10 **ICJ2026開催**

講演52件
有料参加者230名

ICJ2026 概要

若手技術者の参加促進

- ・40歳未満の参加費割引
 昨年の30歳未満から年齢引き上げ。
- ・3名グループ優待の新設 *New*
 主申込み者1名に対し、40歳未満+2名まで参加可能
 ICJ参加者が若手を連れて参加しやすい環境を構築

キーノート講演

「世の中を変えたQRコードの原点と成長」

デンソーウェーブ(株) 原 昌宏 様

QRコード開発当時を振り返り、その発想や普及の理由、
知られざる特長や進化版、最新の活用例を紹介いただく

来て、見て、語る、特別企画

- ✓ ショーケース
 「インクジェットヘッド」
- ✓ ワークショップ
 「若い力のつながりで拓く！画像技術者の未来座談会」
 学生と若手・中堅社員が少人数で業務やキャリアの
 リアルを語り合う座談会

3-3. 企画委員会

2026年度活動計画

◆ イメージングNEXT

- 1回/2～3ヶ月のペースで開催予定
- 講義形式/対談形式/ワークショップ形式/研究室からの配信など、現地とオンラインそれぞれの良さを生かした様々な形態にて実施していく

◆ ICJ2026特別企画の運営

- 「若い力のつながりで拓く！画像技術者の未来座談会」と題し、企業の若手・中堅社員と学生がフラットに交流できるワークショップを開催予定

◆ 2026年度シンポジウムの企画運営

- 各技術部会による一年間の振り返りと、近年の技術トピック紹介を主とした内容で12月に開催予定

3-5. 事業委員会

2026年度活動計画

第90回技術講習会

若手向け

日時：2025年7月6日～7月10日 全21講座 ※シミュレーション実習併催
会場：ユニコムプラザさがみはら+Zoom（ハイブリッド形式）
★新人教育の場として、学び直しの機会として、ぜひご活用ください！

秋・技術講習会「チュートリアル2026」

中堅向け

チュートリアル2025をベースに、2026年秋に開催予定
★中堅技術者の成長に、ぜひご活用ください！

「若手・中堅技術者の育成は、日本画像学会にお任せください！！」

技術講習会は、各社・各大学・技術部会からの講師派遣により成り立っています
引き続きのご支援をよろしくお願いいたします



2026年度 財務計画

財務委員会



2026年度予算編成の考え方

- 2026年度予算は、2025年度実績をベースとして、一時的な要因と思われる収支増減を調整した。
- 事業収入の部では、講習会参加費の2025年度実績が予算より120万円増えており2026年度予算にも反映させた。試験標準品頒布収入の2025年度実績は一時的な増収と判断して例年ベースとした。維持会員会費収入は近年の漸減傾向を反映した。
- 事業支出の部でも試験標準品作成費を例年ベースとした。会費発行費、研討・研究会費支出は、物価上昇により2025年度実績が予算より増加したが、一過性ではないと判断し、実績ベースとした。
- 以上を盛り込み、2026年度は、収入額を2,812万円、支出3,054万円、収支差額を-242万円の赤字予算編成とした。

財務委員会

2026年度予算案

| 科目 | 2025年度予算 | 2025年度末見込 | 対2025年度予算 | 2026年度予算案 | 対2025年度予算 | 対2025年度見込み |
|---------------------|-------------------|-------------------|------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| I 事業活動収支の部 | | | | | | |
| 1. 事業活動収入 | | | | | | |
| 特定資産運用収入 | 0 | 5,674 | 5,674 | 0 | 0 | -5,674 |
| 会費収入 | 16,410,000 | 15,966,173 | -443,827 | 15,530,000 | -880,000 | -436,173 |
| 事業収入 | 10,770,000 | 17,527,332 | 6,757,332 | 12,550,000 | 1,780,000 | -4,977,332 |
| 受取利息収入 | 0 | 21,259 | 21,259 | 0 | 0 | -21,259 |
| その他の事業活動収入 | 0 | 50,797 | 50,797 | 40,000 | 40,000 | -10,797 |
| 事業活動収入計 | 27,180,000 | 33,571,235 | 6,391,235 | 28,120,000 | 940,000 | -5,451,235 |
| 2. 事業活動支出 | | | | | 0 | 0 |
| 事業費支出 | 15,530,000 | 21,410,387 | 5,880,387 | 17,860,000 | 2,330,000 | -3,550,387 |
| 管理費支出 | 11,580,000 | 12,531,043 | 951,043 | 12,610,000 | 1,030,000 | 78,957 |
| 法人税等 | 70,000 | 70,000 | 0 | 70,000 | 0 | 0 |
| その他の事業活動支出 | 0 | -11,448 | -11,448 | 0 | 0 | 11,448 |
| 事業活動支出計 | 27,180,000 | 33,999,982 | 6,819,982 | 30,540,000 | 3,360,000 | -3,459,982 |
| 事業活動収支差額 | 0 | -428,747 | -428,747 | -2,420,000 | -2,420,000 | -1,991,253 |
| II 投資活動収支の部 | | | | | 0 | 0 |
| 1. 投資活動収入 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 2. 投資活動支出 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 特定資産支出 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 什器備品支出 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| III 財務活動収支の部 | | | | | 0 | 0 |
| 1. 財務活動収入 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 2. 財務活動支出 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| IV 予備費支出 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 当期収支差額 | 0 | -428,747 | -428,747 | -2,420,000 | -2,420,000 | -1,991,253 |

財務委員会

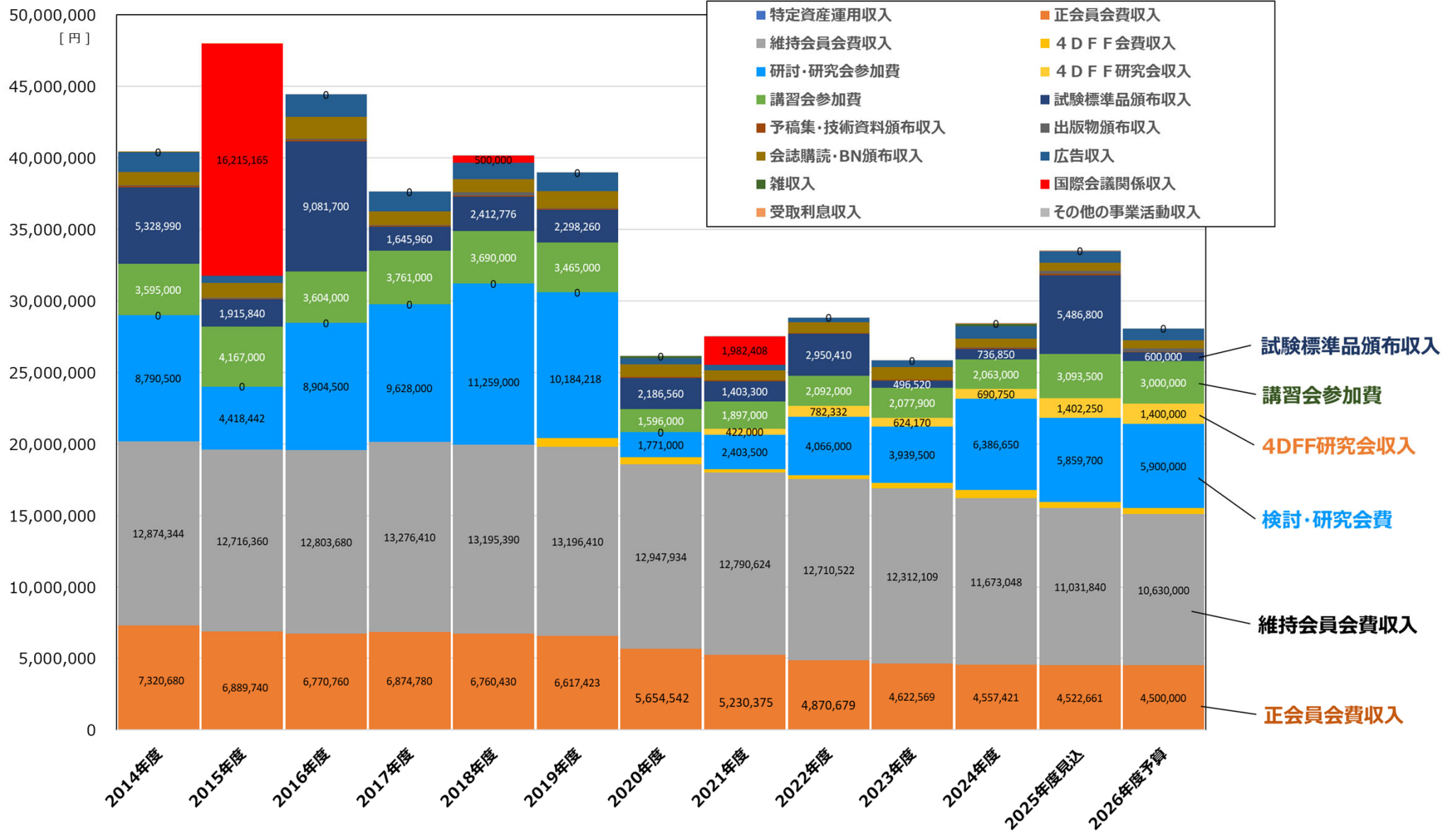
2026年度予算案 事業収入

| 科目 | 2025年度予算 | 2025年度末見込 | 対2025年度予算 | 2026年度予算案 | 対2025年度予算 | 対2025年度見込み |
|-------------------|------------|------------|-----------|------------|-----------|------------|
| I 事業活動収支の部 | | | | | | |
| 1. 事業活動収入 | | | | | | |
| 特定資産運用収入 | 0 | 5,674 | 5,674 | 0 | 0 | -5,674 |
| 会費収入 | 16,410,000 | 15,966,173 | -443,827 | 15,530,000 | -880,000 | -436,173 |
| 正会員会費収入 | 4,480,000 | 4,522,661 | 42,661 | 4,500,000 | 20,000 | -22,661 |
| 維持会員会費収入 | 11,300,000 | 11,031,840 | -268,160 | 10,630,000 | -670,000 | -401,840 |
| 4 D F F 会費収入 | 630,000 | 411,672 | -218,328 | 400,000 | -230,000 | -11,672 |
| 事業収入 | 10,770,000 | 17,527,332 | 6,757,332 | 12,550,000 | 1,780,000 | -4,977,332 |
| 研討・研究会参加費 | 6,200,000 | 5,859,700 | -340,300 | 5,900,000 | -300,000 | 40,300 |
| 講習会参加費 | 1,820,000 | 3,093,500 | 1,273,500 | 3,000,000 | 1,180,000 | -93,500 |
| 試験標準品頒布収入 | 600,000 | 5,486,800 | 4,886,800 | 600,000 | 0 | -4,886,800 |
| 予稿集・技術資料頒布収入 | 30,000 | 95,775 | 65,775 | 50,000 | 20,000 | -45,775 |
| 出版物頒布収入 | 20,000 | 212,921 | 192,921 | 200,000 | 180,000 | -12,921 |
| 会誌購読・BN頒布収入 | 700,000 | 566,386 | -133,614 | 600,000 | -100,000 | 33,614 |
| 広告収入 | 700,000 | 810,000 | 110,000 | 800,000 | 100,000 | -10,000 |
| 雑収入 | 100,000 | 0 | -100,000 | 0 | -100,000 | 0 |
| 国際会議関係収入 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 4 D F F 研究会収入 | 600,000 | 1,402,250 | 802,250 | 1,400,000 | 800,000 | -2,250 |
| 受取利息収入 | 0 | 21,259 | 21,259 | 0 | 0 | -21,259 |
| その他の事業活動収入 | 0 | 50,797 | 50,797 | 40,000 | 40,000 | -10,797 |
| 事業活動収入計 | 27,180,000 | 33,571,235 | 6,391,235 | 28,120,000 | 940,000 | -5,451,235 |

①② 2026年度予算は2025年度末見込みベースで
会費収入微減、試験標準品頒布収入を例年に戻した

財務委員会

事業収入の推移



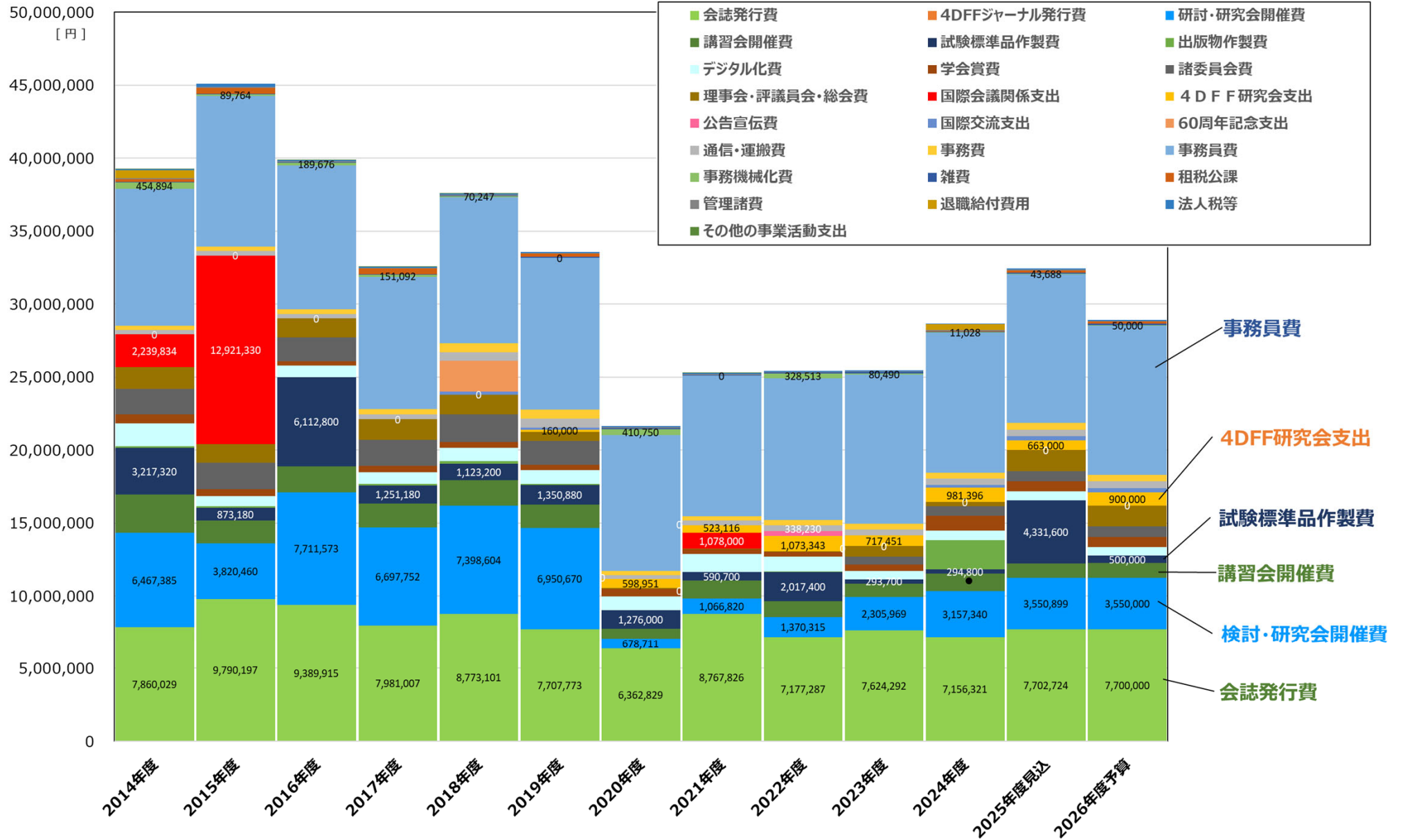
財務委員会

2026年度予算案 事業支出

| 科目 | 2025年度予算 | 2025年度末見込 | 対2025年度予算 | 2026年度予算案 | 対2025年度予算 | 対2025年度見込み |
|---------------|------------|------------|-----------|------------|-----------|------------|
| 2. 事業活動支出 | | | | | 0 | 0 |
| 事業費支出 | 15,530,000 | 21,410,387 | 5,880,387 | 17,860,000 | 2,330,000 | -3,550,387 |
| 会誌発行費 | 7,000,000 | 7,702,724 | 702,724 | 7,700,000 | 700,000 | -2,724 |
| 4DFFジャーナル発行費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 研討・研究会開催費 | 2,980,000 | 3,550,899 | 570,899 | 3,550,000 | 570,000 | -899 |
| 講習会開催費 | 1,200,000 | 964,270 | -235,730 | 1,000,000 | -200,000 | 35,730 |
| 試験標準品作製費 | 320,000 | 4,331,600 | 4,011,600 | 500,000 | 180,000 | -3,831,600 |
| 出版物作製費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| デジタル化費 | 600,000 | 622,064 | 22,064 | 600,000 | 0 | -22,064 |
| 学会賞費 | 400,000 | 700,000 | 300,000 | 700,000 | 300,000 | 0 |
| 諸委員会費 | 800,000 | 687,000 | -113,000 | 700,000 | -100,000 | 13,000 |
| 理事会・評議員会・総会費 | 950,000 | 1,446,312 | 496,312 | 1,450,000 | 500,000 | 3,688 |
| 国際会議関係支出 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 4 D F F 研究会支出 | 950,000 | 663,000 | -287,000 | 900,000 | -50,000 | 237,000 |
| 公告宣伝費 | 0 | 460,000 | 460,000 | 460,000 | 460,000 | 0 |
| 国際交流支出 | 330,000 | 282,518 | -47,482 | 300,000 | -30,000 | 17,482 |
| 60周年記念支出 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 管理費支出 | 11,580,000 | 12,531,043 | 951,043 | 12,610,000 | 1,030,000 | 78,957 |
| 通信・運搬費 | 400,000 | 451,612 | 51,612 | 450,000 | 50,000 | -1,612 |
| 事務費 | 1,600,000 | 1,575,540 | -24,460 | 1,600,000 | 0 | 24,460 |
| 事務員費 | 9,300,000 | 10,191,788 | 891,788 | 10,200,000 | 900,000 | 8,212 |
| 事務機械化費 | 100,000 | 43,688 | -56,312 | 50,000 | -50,000 | 6,312 |
| 雑費 | 100,000 | 62,115 | -37,885 | 100,000 | 0 | 37,885 |
| 租税公課 | 20,000 | 146,800 | 126,800 | 150,000 | 130,000 | 3,200 |
| 管理諸費 | 60,000 | 59,500 | -500 | 60,000 | 0 | 500 |
| 退職給付費用 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 法人税等 | 70,000 | 70,000 | 0 | 70,000 | 0 | 0 |
| その他の事業活動支出 | 0 | -11,448 | -11,448 | 0 | 0 | 11,448 |
| 事業活動支出計 | 27,180,000 | 33,999,982 | 6,819,982 | 30,540,000 | 3,360,000 | -3,459,982 |

財務委員会

事業支出の推移



財務委員会

2026年度予算案

| 科目 | 2025年度予算 | 2025年度末見込 | 対2025年度予算 | 2026年度予算案 | 対2025年度予算 | 対2025年度見込み |
|---------------------|-------------------|-------------------|------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| I 事業活動収支の部 | | | | | | |
| 1. 事業活動収入 | | | | | | |
| 特定資産運用収入 | 0 | 5,674 | 5,674 | 0 | 0 | -5,674 |
| 会費収入 | 16,410,000 | 15,966,173 | -443,827 | 15,530,000 | -880,000 | -436,173 |
| 事業収入 | 10,770,000 | 17,527,332 | 6,757,332 | 12,550,000 | 1,780,000 | -4,977,332 |
| 受取利息収入 | 0 | 21,259 | 21,259 | 0 | 0 | -21,259 |
| その他の事業活動収入 | 0 | 50,797 | 50,797 | 40,000 | 40,000 | -10,797 |
| 事業活動収入計 | 27,180,000 | 33,571,235 | 6,391,235 | 28,120,000 | 940,000 | -5,451,235 |
| 2. 事業活動支出 | | | | | 0 | 0 |
| 事業費支出 | 15,530,000 | 21,410,387 | 5,880,387 | 17,860,000 | 2,330,000 | -3,550,387 |
| 管理費支出 | 11,580,000 | 12,531,043 | 951,043 | 12,610,000 | 1,030,000 | 78,957 |
| 法人税等 | 70,000 | 70,000 | 0 | 70,000 | 0 | 0 |
| その他の事業活動支出 | 0 | -11,448 | -11,448 | 0 | 0 | 11,448 |
| 事業活動支出計 | 27,180,000 | 33,999,982 | 6,819,982 | 30,540,000 | 3,360,000 | -3,459,982 |
| 事業活動収支差額 | 0 | -428,747 | -428,747 | -2,420,000 | -2,420,000 | -1,991,253 |
| II 投資活動収支の部 | | | | | 0 | 0 |
| 1. 投資活動収入 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 2. 投資活動支出 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 特定資産支出 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 什器備品支出 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| III 財務活動収支の部 | | | | | 0 | 0 |
| 1. 財務活動収入 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 2. 財務活動支出 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| IV 予備費支出 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 当期収支差額 | 0 | -428,747 | -428,747 | -2,420,000 | -2,420,000 | -1,991,253 |

Ⓐ 2026年度の予算案は収入2812万円、支出3054万円の収支-242万円赤字予算とした

2026年度 定時総会 進行次第

(2026年6月10日(水) 11:10～12:00)

1. 開会の辞
2. 会長挨拶
3. 定足数の確認・報告、議長選出
4. 第1号議案:2026年度役員案(審議・承認) 矢口
5. 第2号議案:2025年度事業報告(審議・承認) 矢口
6. 第3号議案:2025年度決算案・監査結果(審議・承認) 加川・中居
7. 第4号議案:2026年度事業計画/財務計画/年間予定(報告) 矢口・加川
8. 質疑応答
9. 閉会の辞

【事前投票でのご意見・ご要望】

■ 学会運営

- ✓ 運営は大変だと思いますが、学会を盛り上げてください。
- ✓ あまり貢献できる形で参加できておらずすみません。技術の動向把握として重宝させていただいております。引続きよろしく願いいたします。
- ✓ 送信された資料を眺める限り学会としての運営体制はしっかりしており、事務局と役員の方々に厚く御礼申し上げます。
- ✓ 様々な企画、運営を行われており、感謝申し上げます。
- ✓ 一層の隆盛を願っております。
- ✓ 個人的なことですが、関西でも行事をやってほしいです。年金生活の今、上京するのはなかなか大変です。集客の点で難しいのは承知していますが。
- ✓ 近年の大きな社会変化が続く中、活発な活動されてることを感謝します。今後のご発展も祈念しております。

2026年度 定時総会 進行次第

(2026年6月10日(水) 11:10～12:00)

1. 開会の辞
2. 会長挨拶
3. 定足数の確認・報告、議長選出
4. 第1号議案:2026年度役員案(審議・承認) 矢口
5. 第2号議案:2025年度事業報告(審議・承認) 矢口
6. 第3号議案:2025年度決算案・監査結果(審議・承認) 加川・中居
7. 第4号議案:2026年度事業計画/財務計画/年間予定(報告) 矢口・加川
8. 質疑応答
9. 閉会の辞